学習指導課短信

1　教育課程研究協議会

令和６年８月６日（火）に教育課程研究協議会数学部会を昨年度に引き続き参集型で開催いたしました。

本年度の協議会では,「統計的内容の指導に関する実際上の課題とその対応について」と題して，行政説明を行いました。また，事前に各学校からグループ協議のテーマについて希望を取り，必要に応じて自校の取組について情報提供をお願いしました。当日は,「統計分野（データの分析，統計的な推測）の指導の工夫」が４班,「教育課程の工夫（数学Ｂ及び数学Ｃ履修，学校設定科目，教科横断的な取組)」が４班,「授業等におけるＩＣＴの活用の工夫」が１０班,「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」が５班,「観点別評価の工夫」が４班となり，各学校において課題とするテーマについて有益な情報交換ができたと意見をいただきました。

今回の５つのテーマでは，授業等におけるＩＣＴの活用を課題とする学校が最も多かったです。ＩＣＴの活用につきましては，千葉県学習共有ポータルに事例が数多くあります。一度，御確認いただき，必要に応じて御利用ください。一方で，同じ悩みを抱えた学校が同じグループに集まるため，解決の糸口が見つからず，議論が深まりにくかったとも意見もいただきました。今後，改善方法を検討いたします。なお，各グループの記録につきましては，各学校の管理職の先生（私立学校の場合は学事課）を通じて配付いたしました。御確認の上，参考になれば幸いです。

2　高等学校訪問

学習指導要領の着実な実施に向けて，学習指導の改善及び適切な学習評価の実施と学校運営上の課題解決のための支援を行うことを目的として，学習指導課では，令和４年度から３年間で千葉県内の全ての県立高等学校への訪問を予定しております。令和６年度はこの計画の最終年度となり，８月末までに計１４校の訪問を終えました。

令和６年度の訪問では，原則として各教科会に当該教科の全ての教員が出席するよう依頼し，授業視察のみではなく，学校が抱える悩みや課題等について，指導主事が各先生方に対して直接指導助言等を行っております。授業視察では，生徒の主体的な学びや協働的な学び，また，それらを生かして深い学びへと繋げるような授業展開等，非常に魅力ある授業を数多く拝見しました。授業の主体を生徒に置き，生徒自身が「問い」や学習課題を見いだすことにより，生徒たちの学びは主体的なものとなり，生徒たちに目標とする資質・能力を身に付けさせることが可能となるとともに，観点別学習状況評価を適切に行うことも可能となることを，改めて確認出来ました。

授業改善と評価の充実は一体的に進むものであり，どちらか一方のみだけを推し進めようとしてもうまくいきません。先生方におかれましては，教科全体の取組として，授業改善と評価の充実を一体となって進めていただくようお願いします。

3　高等学校初任者研修

令和６年８月２７日（火）に，高等学校数学科の初任者に対し,「学習指導のポイント② ～学習指導案の書き方と評価～（数学)」と題して，数学の指導主事が講義とグループ協議を行いました。１時間２０分という限られた時間でしたが，初任者の先生方は，目の前の生徒に対して出来ることを真剣に考え，議論を深めていく姿が印象的でした。学習指導課では，必要に応じて要請訪問も行っておりますので，何かございましたら，御連絡ください。

4　教科研究員（令和５・６年度）

令和４・５年度及び令和５・６年度の数学科教科研究員を，次の方々にお願いしました。教科研究員の先生方には，２年間かけて数学科における指導の内容や方法について実践的かつ具体的な研究を行い，その成果を報告書としてまとめていただくことになります。

（令和５・６年度）
　小林　大介　（八千代高等学校）
　鈴木　健太　（四街道高等学校）
　杉村　秀人　（船橋東高等学校）
（令和４・５年度）
　後藤　優太郎（我孫子東高等学校）

過去の報告書は千葉県学習共有ポータルにアップされております。ＩＣＴに特化した報告書が既に６件あり，ＩＣＴの活用を１枚にまとめた「ＩＣＴ活用ヒント集」も多数あります。授業改善の貴重な資料として，ぜひ御活用ください。

県教育庁教育振興部学習指導課
指導主事　菅根 彰宏